

トータルコーディネートサポートシステムの提案

郭 春皓[†] 野地 保[†] 木下 善皓[‡] 松浦 純士[‡]

東海大学 電子情報学部[†] 東海大学 工学研究科[‡]

1. まえがき

現在のインターネットショッピングでは、ユーザが商品の試着ができず、手元に届くまで、買った服が体型・髪形、肌の色などに似合うかどうか分からない。そのため似合う服を買うためには支援が必要であると考えられる。

本研究では、先行研究である顧客満足に視点を当てたネット販売¹⁾²⁾および、感情処理機能³⁾を生かし、インターネットでユーザに似合う服を選び出す効果を上げ、満足のいく買い物を支援する。システムの特長は、ユーザの体型・髪型・肌の色、さらに、好きな服のファッションスタイルを含めて、そのユーザだけの条件に合った服の検索が可能である。また、ユーザは自分の写真と服の写真を合わせることで、ユーザに似合った服を選び出すことができる。

本システムを利用し、顧客を満足させるシステムを提案する。

2. 自分に似合う服の重要性

人の体型には様々あり、その体型ごとに似合う服を着ることが重要である。お店で洋服を買う場合は、試着をすることができ、その段階で、自分の体型に似合うかどうかを確かめられる。自分に似合う服を選び出し、買うことができれば、買い物に満足することができる。買い物に満足することによって、ストレスの発散につながる。また、似合う服は、周りの人たちに見せたいという衝動が起こり、積極的に行動をするきっかけとなり、自分に様々な自信をもたせる。

3. 従来のシステムとその問題点

従来のインターネットショッピングシステム例を図1に示す。

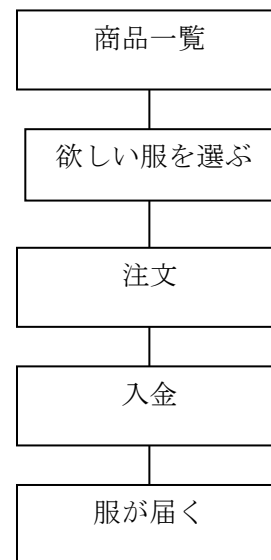


図1 従来のシステム例

図1に示す従来のシステムには、3つの問題点がある。以下に示す。

(問題点 1) 試着が出来ないため、似合うか確かめられない。

(問題点 2) 服が手元に届くまで自分に似合うか確認できず、確認できるまで、時間が掛かる。

(問題点 3) 店の信頼性が不安である。

4. 提案するシステムの特徴

従来の3つの問題を解決する新しいシステムを提案する。このシステムの特徴はユーザの体型・髪型・肌の色、好きな服のファッションスタイルを含めてシステムに入力し、ユーザに似合う服を選び出すことである。提案するシステムの流れ図を図2に示す。

以下、問題点1を解決するための機能を「(1) 指定商品の探索機能」に、問題点2と問題点3の解決するための機能を「(2) 返品機能」に示す。

「A proposal of a total coordinate support system」

[†] 「Syunkou KAKU, Tamotsu NOJI, Tokai Uni. Information Technology and Electronics」

[‡] 「Yoshihiro KINOSHITA, Junji MATSUURA, Tokai Uni. Engineering graduate course」

図2の①～⑦の番号は、(1)，(2)の各々の番号に対応している。

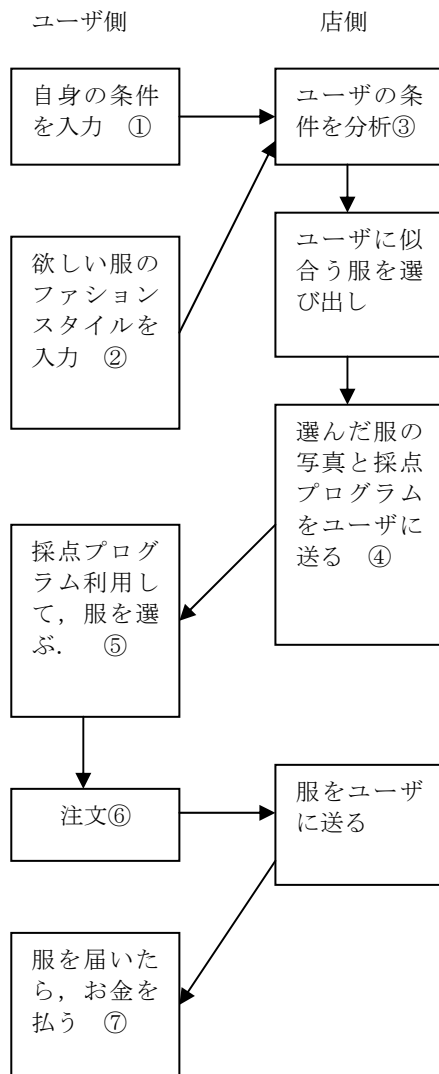


図2 提案するシステムの流れ図

(1) 指定商品の探索機能

問題点を解決するために、質問形式と採点プログラムを用いる。採点プログラムとはユーザの写真と服の写真を合わせた後、点数を付けるプログラムで、ユーザに似合う度合いにより点数が高くなる。指定商品の探索機能の詳細について以下に示す。

①ユーザ自身の条件を顔の形、首の長さ、上半身と下半身の比率、体の太さ、肌の色、髪型と髪の色などに関する質問に回答する事によって入力する。

②ユーザが好きなファッションスタイルを入力する。

③店側はユーザが入力した条件を分析し、ユーザに似合う服を選び出す。

④選んだ服の写真と採点プログラムをユーザに送る。

⑤採点プログラムを利用して、点数を参考に、服を選ぶ。

⑥服を選んだら、サイズを入力して、注文する。質問形式と採点プログラムを利用して、従来のシステムより、服選びにかかる時間が短くなり、自分に似合う服を選べる。

(2) 返品機能

⑦服がユーザの手元に届いたら、ユーザは試着して、納得いった場合、お金を支払う。サイズが合わなかったなどの場合は返品可能となる。店と宅急便の協力により、届ける時カードと現金での支払いを選択することができる。

ユーザが届いた商品を確認してから、支払いを行うことにより店の信頼性に関する不安がなくなる。

5. むすび

本稿では、インターネットでユーザに似合う服を選び出し、満足のいく買い物をさせることが目的である。そのために、ユーザの体型・髪型・肌の色、好きな服のファッションスタイルを含めて、ユーザだけの条件に合った服を検索し、その写真を顧客に送るシステムを提案した。今後の課題として、顧客支援システムの構築を目指すと共に、顧客にとって、さらに使いやすいシステムの研究を進める。

参考文献

1) 木下善皓，佐藤大輔，池田篤史，イクケイ，王春明，野地保：“ジャンプのWeb販売における顧客支援システム”，2005年電子情報通信学会，pp274(2005)

2) 木下善皓，武金萍，野地保，水野浩孝：“保養品販売における顧客支援システムの提案”，FIT2005第4回情報科学技術フォーラム，pp473-pp474(2005)

3) 吉野央郎，野地保，木下善皓，渡辺容子：“マイナス感情の緩和支援システム”，FIT2005第4回情報科学技術フォーラム，pp471-pp472(2005)